

花シリーズ「きく」多数貼りの速達便

永吉 秀夫



3枚加貼速達葉書 右京 S36.11.8

1961年発行の花シリーズは、その後継続的に発行されるようになったシリーズ切手の最初のもので位置づけられます。郵便90年記念という記念目的があったそうですが、純粋なシリーズ切手と考えてよいでしょう。

封書額面の切手なので、使用例としては1枚貼り封書を集めるのが基本ですが、他のいろいろな使用例、特に多数貼りカバーを含めることにより、コレクションの厚みは格段に増します。その多数貼りの中で代表的なものが、紹介品のような速達便です。シリーズ発行中 S36(1961).

6.1に改訂された速達料金に対応し、速達料金30円分を加貼した3枚貼り官製葉書と、封書料金分を含めて4枚貼りとした速達封書とを、「きく」のみを貼った形で揃えました。

種類の多い記念切手の場合、全種についていろいろな使用例を揃えていくのは大変ですが、シリーズ切手の場合は代表としてシリーズ中のどれか1種について集めるだけでも、一応は形が整います。取っつきやすい対象と言えるでしょう。



4枚貼り速達書状 日本橋 S36.11.28

記念切手貼りの外信船便2点

永吉 秀夫



上側:印刷物便(アジア大会 10 円貼り: NISHINOMIYA 1966.6.25)

下側:書状(国立劇場 50 円貼り: SHIBUYA 1968.11.1)

上側は1961年9月以前の印刷物便で、国内書状用10円額面記念切手のコレクションに変化をつけるのに便利な品です。写真下側は50円額面記念切手の「適正使用例」ですが、航空便が当たり前となったこの時期の船便は、結構入手に手こずるものです。